

評価の基準

本報告書の学校自己評価は、平成25年3月に文部科学省より発表された「専修学校における学校評価ガイドライン」をふまえて、特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構が作成した「専門学校等評価基準書Ver. 4.0」に準拠した項目について実施しました。

評価の基準日

平成30年3月1日（平成29年度の評価）

評価報告書の構成

本報告書の各点検項目（53項目）は以下のような要素で構成されています。

①点検タイトル

②評価観点概要

その項目について「専門学校がどうあるべきか」の基準となる観点を上述の「専門学校等評価基準書Ver. 4.0」より抜粋して記載しています。

③評価

基準日における本校の現状についての評価を記述しています。

④課題

改善または発展・向上へのビジョン

⑤今後の対策

改善すべきと判断する事項がある項目については改善すべき内容と改善方針・計画・予定などを、その他の項目については現状を維持、またはさらに発展・向上させるためのビジョンや取組み等について記載しています。

1. 学校の教育理念

本校は、次の教育理念のもと教育の質の向上ならびに教育環境の充実に努めてまいります。

1. 実践的な技術・技能を身に付けることに喜びを持ち、生涯続けられる仕事に従事できる人材を育成します。
2. 創造力を培い、専門性を高め卒業後役立つ知識や能力を備えたスペシャリストを育成し、地域社会に貢献できる力を涵養します。
3. 社会人として他を敬い、感謝し、共に生きるために明るく健康で建設的な意思をもって行動する人材を育成します。

2. 学校の教育目標

本校は、以下に掲げる教育目標に向かって産・学・官で連携し、時代のニーズに対応できる社会人の育成に努めてまいります。

1) スペシャリストの育成

現代社会、特に地元産業の求める人材の輩出を目的に、実社会の要請に合わせて、卒業後すぐに役立つ資格、能力、知識を備えた「スペシャリスト」を育成する

2) 自ら学ぶことを大切にする教育

教育効果を最大にするための基本は、学生の教職員に対する信頼関係の確立にある。そのために、教職員が模範を示し自ら学ぶことができる学生を育成する。

3) 豊かな人間性の形成

資格、技能を持つと同時に、社会的常識とマナーを備え、明るく健康で建設的な意思を持って行動できる人材を育成する。

3. 本年度の重点的目標と取り組み

次の点に重きを置き学校を運営していきます。

1) 教育内容の充実

- ・企業等と連携した経験的、体験的、実践的学習を展開する。
- ・専門力とともに人間力を高める教育の充実
- ・思考力、判断力、コミュニケーション能力を高める教育の充実

2) 学生・保護者の満足度向上

- ・学生・保護者・学校の情報共有と連携
- ・三者面談（学生・保護者・教員）の有効活用
- ・多面的本校理解の推進

3) 高い就職率

- ・在り方生き方の就職指導の充実（自己理解と自己表現）
- ・「就職実務」の指導内容の充実と方法の改善
- ・就職につながる企業実習等の重視

4) 高い検定取得率

- ・取得検定の精選と高度化
- ・就職指導に関連づけた検定対策
- ・検定関係授業の充実と指導方法の改善

5) 安定した入学者数の確保

- ・魅力ある教育内容の充実と学校作り
- ・入学関係者のニーズに即した広報活動と対応

6) 退学者の防止

- ・学習、生活、就職活動等におけるきめ細かい学校支援
- ・あらゆる教育場面を通しての、学生理解と速やかな対応

<評価項目の達成及び取組状況>

(1) 教育理念・目標

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評 価 項 目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。	4
	学校理念や教育目標は明確である。	
2	学校における職業教育の特色は何か。	4
	「ものづくり」精神を根底に「現代版職人」の養成を目指している。	
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4
	職業実践専門課程としての機能を活かし、関連する業界の動向と将来性を常に注視し、学校運営に反映させている。	
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	3
	入学前のオリエンテーション、入学後、学年ごとに学生、保護者面談等で周知活動を実施しているが不十分である。	
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4
	職業実践専門課程としての機能を活かし、関連する業界の動向と将来性を常に注視し、学校運営に反映させている。	

① 課題

※産・学・官で連携を取りながら、将来を見据えた教育内容を作成しているが、業界のニーズに即応した業態に対応できるような柔軟性が必要である。

② 今後の対策

※職業実践専門課程の教育課程編成委員会と学校関係者評価委員会を通じた関連業界との連携をさらに強化するとともに、関連業界の動向の把握に努め、より精度の高い将来性の評価能力を開発していく。

(2) 学校運営

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切…

1

評 価 項 目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
	年頭の理事長の挨拶で運営方針を示し、月一回の職員会議や学科主任会議で方針に沿った運営ができているかなど検討している。	
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
	理事長の運営方針を受け、校長を中心として、各教職員が半期ごとにPDCAサイクルを実施している。	
3	運営組織は、規則等において明確化されているか。また、有効に機能しているか	4
	組織図や各種会議が規程で示され、定期的に行われ、議事録を回覧している。	
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	3
	整備されている。	
5	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
	職業実践専門課程の認可を受け、地域行事への参加や関係機関と連携するなど、関係は良好である。	

① 課題

※学校運営に対する教職員の意識は高まりつつあるが、不十分である。

② 今後の対策

※個人的には意識しているが、それを各学科単位、学校全体としての取り組みを進める必要がある。

(3) 教育活動

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評 価 項 目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		評価
1	教育課程の編成や職業教育に関する方針を明確に定めているか	4
	定めている。	
2	授業の目標に対して、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか	4
	授業目標に沿った形態で授業に取り組んでいる。	
3	授業科目の計画（シラバス）を作成しているか	4
	毎年作成し、授業内容の改善に努めている。	
4	学生による授業評価を行い、授業改善等に活用しているか	2
	前期後期に学生アンケートを実施し、授業改善に活かしているが、教官に対する取り組みが不十分である。	
5	成績評価基準を明確化し、客観性・統一性を確保しているか	2
	単位取得、進級、卒業資格に関して明確にしなければならない。就学規則に明示しているが、より明確にしていきたい。また、サポート校からの入学者も増加しているので、個々の学生に合わせた指導も必要である。	
6	目標資格の内容・取得意義を明確化しているか	4
	目標資格を明確にして、卒業後の就職活動に活かすよう明確にしている。	
7	教員採用において関連業界と連携しているか	3
	各学科とも各業界に精通した教員を採用している。	

① 課題

※授業アンケートを年間2回実施し授業改善に活かしているが、アンケートの内容や反映のあり方を検討する必要がある。

② 今後の対策

※計画的に相互の授業を見学し、授業に対する取り組みの向上改善に努める。また、教職員のスキルを高める研修会の開催を進めたい。

(4) 学修成果

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評 価 項 目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		評価
1	就職率の目標を設定し、向上が図られているか	4
	各学科と就職担当が連携し、ハローワークとも緊密に連絡取り合いながら支援体制を整えている。	
2	学生の就職活動状況を把握している	3
	教職員が共通理解を図れるよう定期的に朝の打ち合わせや学科会議などで報告しているが、充分とは言えない。	
3	就職について関連業界と連携しているか	3
	各学科で学んだ内容が活かせるよう、就職活動から指導しているが、充分ではない。	
4	合格実績、合格率を全国水準と比較し、指導方法の改善を行っているか	4
	就職内定は学科によってバラツキはあるが、合格率は向上している。	
5	就職先企業を訪問するなどして卒業生の実態を把握しているか	3
	計画的に就職企業などを訪問し、卒業生の把握や再就職希望者に対してフォローしている。	

① 課題

※成績不良者や休みがちな学生へ対策は行っているが、指導の工夫が必要であり担任力の向上が求められる。
 ※卒業生に対するフォロー体制を整える必要がある。

② 今後の対策

※定期的な面談、個別指導状況を学科ごとにまとめ、教職員の共通理解を図っている。また、スクールカウンセラーを配置し、悩み相談に対応している。
 ※卒業生の職場訪問を教職員が定期的に行い、卒業生の動向について共通理解を図り、学科間及び広報・就職担当と連携を図っていく。

(5) 学生支援

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評 価 項 目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		評価
1	就職・進路支援のための組織体制はあるか	4
	就職担当職員を配置し、教職員と連携した就職支援体制を取っている。	
2	中途退学の要因、傾向等を把握しているか	2
	入学後の面接や調査書に記載された内容を分析し、出身校や保護者と連携して学生の性格等を把握し退学防止を図っている。	
3	中退率低減に向けた学内の連携体制はあるか	2
	スクールカウンセラーを配置し、毎週1回学生の悩み相談に対応している。また、毎週金曜日の朝の打ち合わせ時に学生の出欠状況等について共通理解を図っている。	
4	学校独自の奨学金はあるか	4
	伏見奨学金があり、希望者等に試験を実施し、成績優秀者に支給している。	
5	経済的支援制度利用についての情報提供を行っているか	4
	日本学生支援機構等の奨学金が利用可能。学費の分納にも対応している。	
6	定期健康診断を実施し、記録を保存しているか	2
	6月に集団検診を実施し、学生の健康管理に努めている。検診で健康面を指摘された学生には個別に指導している。	
7	学力や心理面の問題等について保護者と連携しているか	4
	年度末に学生の成績を保護者に送付している。問題のある学生については、家庭訪問や保護者に来校して頂くなど個別に対応し連携を図っている。年度末に3者面談を実施して問題解決を図っている。 また、教育相談を通して問題解決を図っている。	
8	緊急時の連絡体制を確保しているか	4
	校内と保護者向けの緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を確保している	

① 課題

※卒業学科に就職を希望しない学生や就職活動に消極的な学生に対してのアプローチと成績不振学生に対する支援活動の充実を計る。

② 今後の対策

※就職を希望しない学生には、転科制度で早い段階で対応する。就職活動に消極的な学生には、インターンシップなどを勧め職業に対する意識を高めていく。
成績不振者に対しては、長期の休み等を利用し補講や追試などを行い指導にあたる。

(6) 教育環境

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評 価 項 目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		評価
1	施設・設備は関係法令に適合しているか	4
	法令に従い適切に整備している。	
2	衛生管理、日常点検、定期点検などを適切に行っているか	3
	防災設備の点検、危険個所の適宜改善、消防署立ちあいのもと、全生徒による避難訓練の実施など、体制を整備している。	
3	学外実習・インターンシップの意義を明確化し適切に取り組んでいるか	4
	適切な企業を確保している。	
	産・学・官で連携し、適切な研修やインターンシップを実施しているが、できるだけ多くの学生が参加できるよう配慮している。	
4	学校行事の運営に学生を参加させているか	3
	実行委員を決めて企画段階から参加させている。	
5	防災訓練を定期的に実施しているか	4
	防災マニュアルが整備されているので、定期的に実施し、市内の消防署に依頼して指導や講評をお願いしている。	

① 課題

※学校行事や避難訓練に対して学生の意識の向上にどのようにつなげるか。

② 今後の対策

※行事や訓練における事前指導で、実施する意義を明確にする。

(7) 学生の募集と受け入れ

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		評価
1	高等学校等に教育活動の情報提供を行っているか	4
	高校訪問やガイダンスを通して、高校生や保護者、高校教員への情報提供を行っている。また、高校への出前授業も積極的に行っている。	
2	専修学校団体の自主規制に即した募集活動を行っているか	4
	ガイダンスやオープンキャンパスを中心とした広報活動の中で募集活動を行っている。	
3	入学選考基準は規程等で明確に定めているか	4
	毎年、基準を見直すなど規定を明確に定めている。	
4	学納金決定の過程を明確にしているか	4
	募集要項や学校案内パンフレットにて明確に明記している。	
5	学納金等徴収する金額はすべて明示しているか	4
	募集要項や学校案内パンフレットの記載に加え、請求の案内を送る際には納入金の内訳を明記している。	

① 課題

※少子化が進む中で定数の確保、そして経済的理由にて進学に悩む高校生への支援対策。
 ※保護者に対する取り組みについて。

② 今後の対策

※本校の強みを打ち出し、他校との差別化を図りこの分野では負けない魅力的な授業を外部にアピールしていく。
 ※本校独自の奨学金の見直しなど、時代のニーズに合った募集を行う。
 ※今後、体験等に参加した保護者やガイダンスにおいても積極的に取り込む検討を行う。

(8) 財務

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		評価
1	収支のバランスは取れているか	3
	収支のバランスはとれている。	
2	予算の編成を明確にしているか	2
	大枠では明確にしているが、細部については課題がある。	
3	予算編成は教育目標、業務計画と整合性があるか	3
	整合性はとれている。	
4	私立学校法に基づき適切に監査を行っているか	3
	財務について会計監査を適切に実施している。	
5	法令により義務付けられている財務諸表、事業報告書等を作成し閲覧に供しているか	2
	財務諸表、事業報告書等は作成しているが、財務情報の公開に関しては、今後検討しなければならない。	

① 課題

※財務情報の公開に関しては、不十分である。

② 今後の対策

※情報公開に関しては、財務担当と検討している。

(9) 法令等の遵守

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評 価 項 目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		評価
1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
	学校教育法、各種養成施設設置規則等を遵守している。	
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
	個人情報管理規程を整備し、文書ロッカーの施錠、使用済名簿のシュレッダー廃棄等を実施している。	
3	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	2
	今年度、指導に従った自己評価2年目であるが改善点が多い。	
4	自己点検・自己評価結果を公表しているか	1
	自己評価結果をインターネット上の学校ホームページに3月にアップ予定である。	

① 課題

※授業評価アンケート結果から、問題点の改善には努めているが、全体的な一定の改善効果は見られるものの、個別の授業改善の効果が表れるまでには時間がかかっている。
※自己評価は、昨年度から実施しているが評価項目等においても課題がある。

② 今後の対策

※教員のPDCAサイクルにも授業評価アンケートの結果を反映させる。
※評価項目など評価方法についてさらに検討を加える必要がある。

(10) 社会貢献・地域貢献

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4
	自治会行事や産・官連携への活動には積極的に参加し実施している。検定試験会場として施設を提供した。	
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
	施設や自治会等からのボランティア依頼の伝達及び、学生引率など実施している。	
3	産学連携に関する方針・規程を整備しているか	2
	校内における職員の合意程度なので、方針や規定を整備しつつある。	
4	企業等と連携しての教育プログラム共同研究等の実績はあるか	2
	企業等から依頼された作品作りやボランティアは実施しているが、今後プログラムなど精査している。	

① 課題

※学校の立地や設備の制限があるなか、最大限の活用に努めているが、さらに社会貢献・地域貢献に努めたい。

② 今後の対策

※さまざまな団体との連携をより強め、学校内外の施設を利用した社会貢献・地域貢献の機会も積極的に増やしていく。